あなたのいばしょ相談データレポート（品川区）　2024年8月

1.相談件数

項目	品川区*1	東京都*2	備考
相談者数	122 人	3,785 人	相談に訪れたユーザーの数
相談件数*3	125 件	4,924 件	寄せられた相談の件数
1人あたり相談件数	1.0 件	1.3 件	-
1日あたり相談件数	4.0 件	158.8 件	-

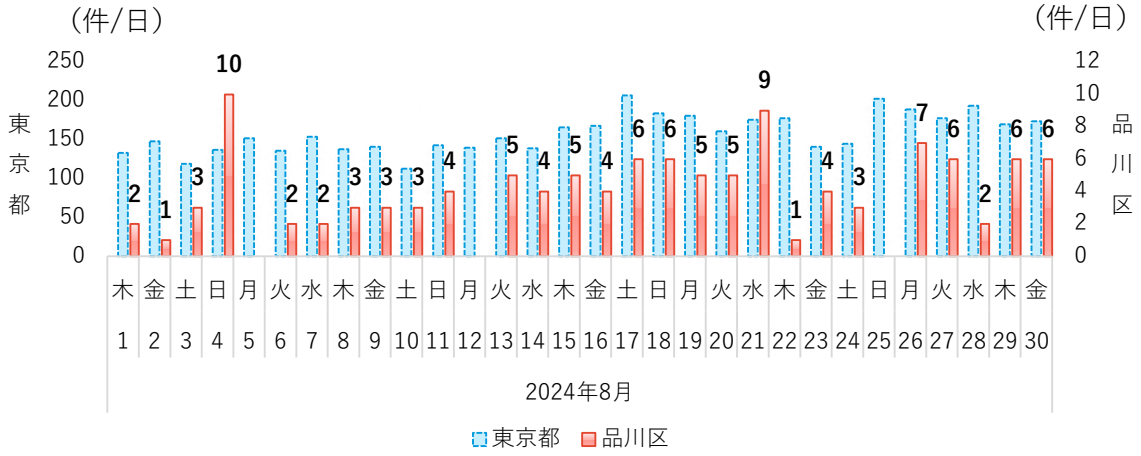
*1)品川区専用相談窓口に寄せられた相談

*2)全国共通相談窓口に寄せられた相談のうち、「東京都」からの相談

*3)相談件数：相談前に実施している事前質問のすべてに回答し、具体的な相談が書き込まれた相談の件数

（相談者自身により相談データが消去された相談を除く）

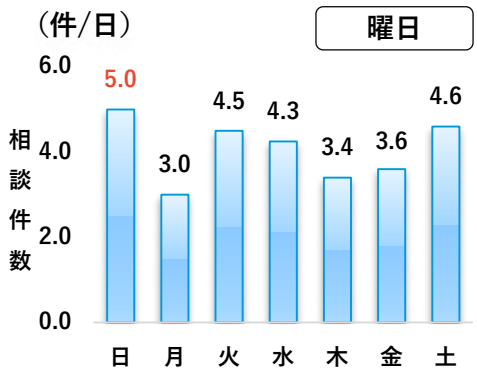
2)月間推移



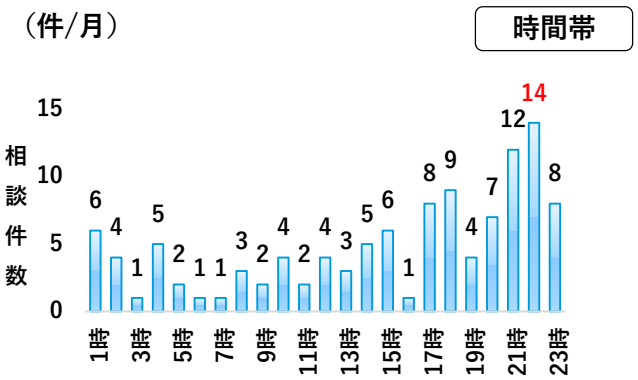
東京都：月間ピーク　8月17日（木）207件（平均158.8件/日）

品川区：月間ピーク　8月4日（日）10件（平均4.0件/日）

3)曜日・時間帯別相談件数（品川区）



*1日あたりの平均件数
（曜日により日数の差があるため）

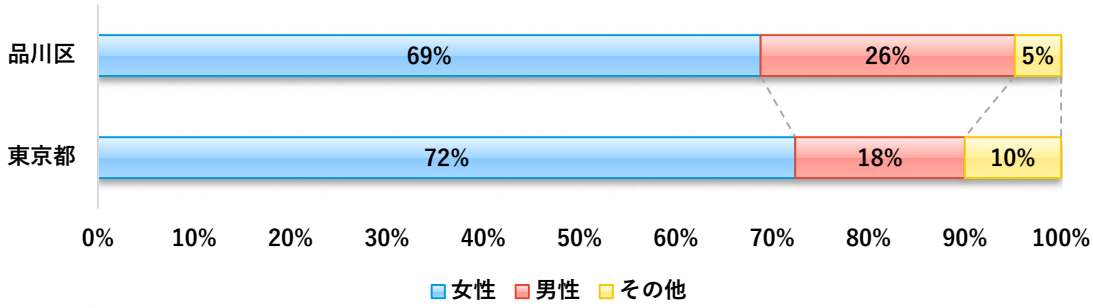


*1ヶ月合計件数

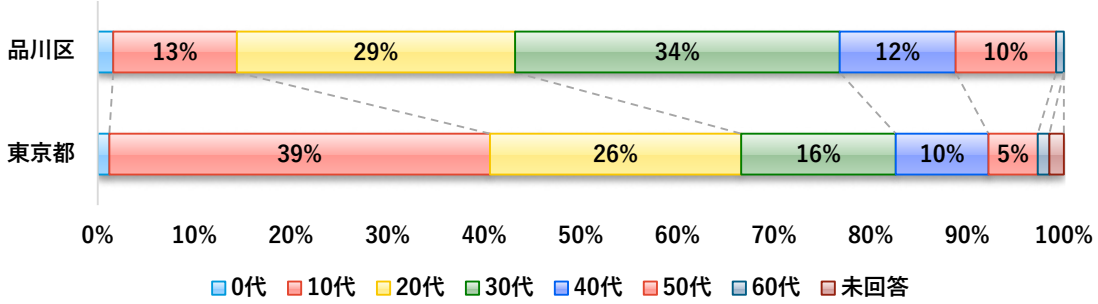
2024年8月の1か月間で合計125件の相談が寄せられました。1日あたり平均4件、最も多くの相談が寄せられた日（8/4）で10件の相談が寄せられています。
曜日別では①日曜②土曜の相談が多く、週末に相談が多くなる傾向があります。時間帯別にみると、朝8時ごろから夜にかけて時間が経つごとに相談が増加し、22時台に最も多くの相談が寄せられました。深夜帯(4時台）にも日中より多くの相談が寄せられています。

2.相談者属性

性別



年代



性別×年代

品川区

年代/性別	女性	男性	その他	合計
0代	1%	0%	1%	2%
10代	11%	2%	0%	13%
20代	20%	9%	0%	29%
30代	23%	7%	3%	34%
40代	7%	4%	1%	12%
50代	6%	4%	0%	10%
60代	0%	1%	0%	1%
その他(未回答含)	0%	0%	0%	0%
合計	69%	26%	5%	100%

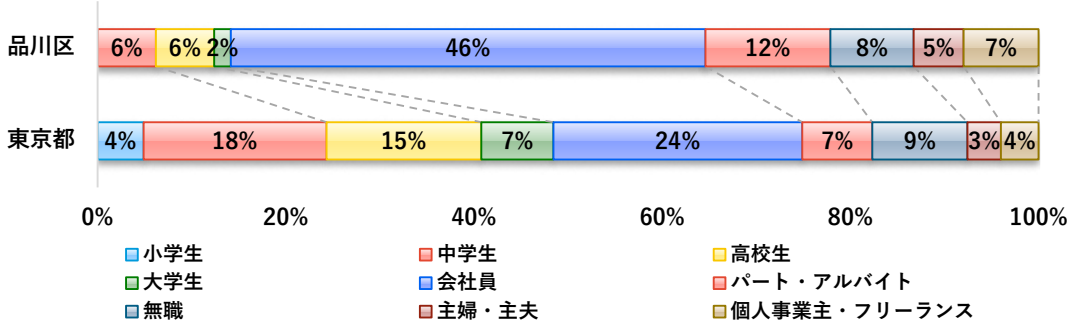
*品川区での相談件数全体（N=125）を100%として算出

東京都

年代/性別	女性	男性	その他	合計
0代	1%	0%	0%	1%
10代	29%	6%	5%	39%
20代	21%	3%	2%	26%
30代	12%	4%	1%	16%
40代	7%	2%	1%	10%
50代	3%	2%	0%	5%
60代	0%	1%	0%	1%
その他(未回答含)	0%	0%	2%	2%
合計	72%	18%	10%	100%

*東京都での相談件数全体（N=4,924）を100%として算出

職業



年代×職業

*品川区

年代/職業	中学生	高校生	大学生	会社員	パート・アルバイト	個人事業主・フリーランス	公務員	無職	主婦・主夫	会社役員	その他(未回答含)	合計
0代	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	2%
10代	6%	6%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	13%
20代	0%	0%	1%	17%	5%	1%	0%	3%	1%	0%	2%	29%
30代	0%	0%	0%	18%	4%	2%	4%	3%	1%	1%	2%	34%
40代	0%	0%	0%	6%	2%	2%	0%	1%	2%	0%	0%	12%
50代	0%	0%	0%	5%	2%	2%	0%	1%	0%	0%	1%	10%
60代	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
合計	6%	6%	2%	46%	12%	7%	4%	8%	5%	1%	5%	100%

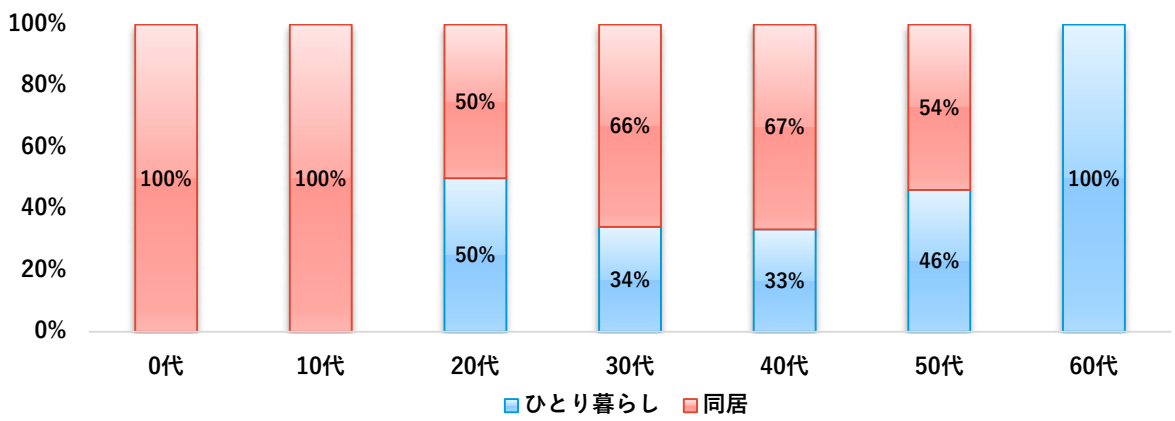
*品川区での相談件数全体（N=125）を100%として計算

・女性からの相談が大半（69%）であり、東京都全体と同様の傾向にあります(東京都は72%）。
・年代では30代からの相談が最も多く（34%）、東京都全体の30代比率（16%）と比較しても品川区からの相談は圧倒的に30代からの相談が多いことがわかります。
・性別・年代では、品川区で最も多かったのが「30代・女性（23%)」でした。東京都全体で最も多かったのが「10代・女性（29%）」であったため、相談者の年齢層が東京都全体と比較し高かったことがわかります。品川区専用相談窓口の認知度が年代別に差があることが想定されます（「相談窓口を知ったきっかけ」データについては後述）。
・職業別にみると、最も多かったのが「30代・会社員（18%）」次いで「20代・会社員（17%）」と相談者のうち会社員が占める割合が最も高く、全体の46%でした。
・10代を職業別にみると、「中学生(6%）」と「高校生(6%）」からの相談が同数で最も多く、10代の相談のほとんどを占めました。

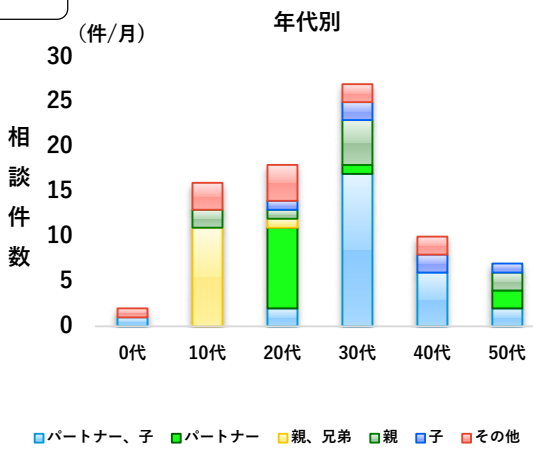
世帯状況

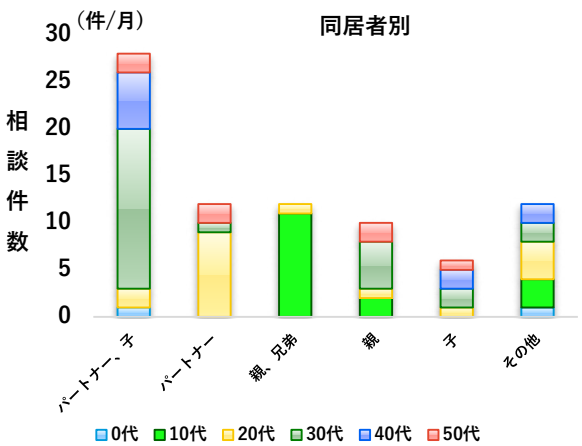
世帯状況	同居人	相談件数	比率	構成	同居人	相談件数	比率	構成
ひとり暮らし		44	35%	本人				
同居	パートナー、子	28	22%	パートナー 本人 子	親、子、パートナー	4	3%	親 パートナー 本人 子
	パートナー	12	10%	パートナー 本人	親、祖父母	3	2%	祖父母 親 本人
	親、兄弟	12	10%	親 本人 兄弟	祖父母、親、子	1	1%	祖父母 親 本人 子
	親	10	8%	親 本人	パートナー、親	1	1%	親 パートナー 本人
	子	6	5%	本人 子	その他	3	2%	（友人等）
未回答		1	1%		（同居　小計：80件（64%）			
	合計	125	100%					

年代別世帯状況



同居者





・相談者の世帯状況では、ひとり暮らし(35%）・同居（64%）・未回答（1%）でした。
・年代別では、0代・10代と若い世代では同居である相談者が100%。相談件数が僅少であった60代を除くと、ひとり暮らしの比率が最も高かったのが20代(50%）で、30代以上になると、ひとり暮らしの比率は30～40%程度でした。
・同居者の内訳では、10代の相談者では「親・兄弟」との同居が最も多く、20代では「パートナー」との同居が急増します。さらに30代以上になると「子」を含む同居が増加しました。一方で、「親のみ」と同居している相談者も30代が最も多く、30代は相談者により世帯状況がそれぞれ異なりやすいことがわかります。

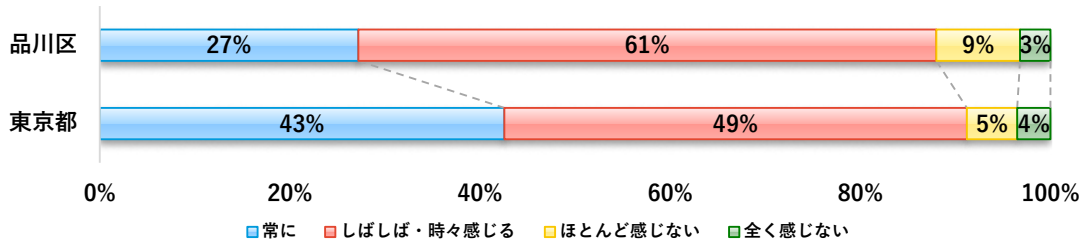
3.孤独感*4、希死念慮*5、自殺念慮*6

*4)相談の事前質問「どのくらいの頻度で孤独を感じますか」に対する回答

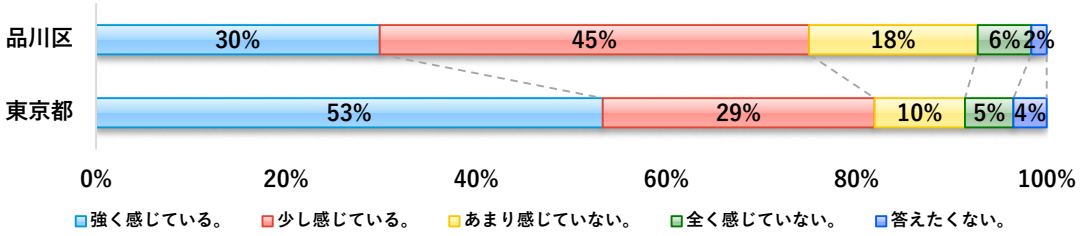
*5)相談の事前質問「いま、『もういなくなってしまいたい』と思うお気持ちを感じておられますか」に対する回答

*6)相談の事前質問「いま、『死にたい』というお気持ちは感じておられますか」に対する回答

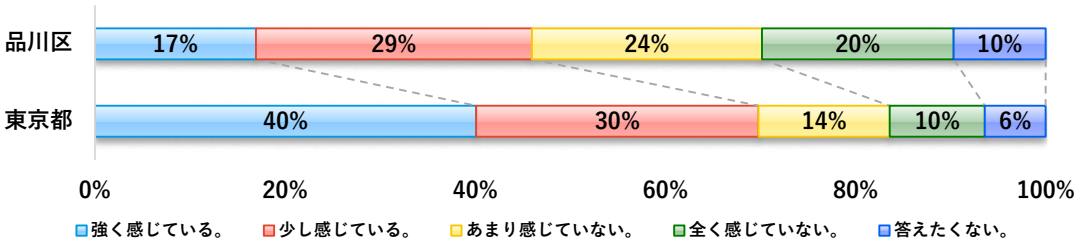
孤独感



希死念慮



自殺念慮

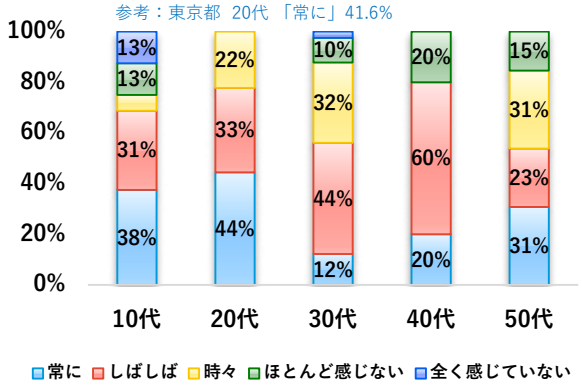


年代別

*60代は相談件数が僅少のため除外

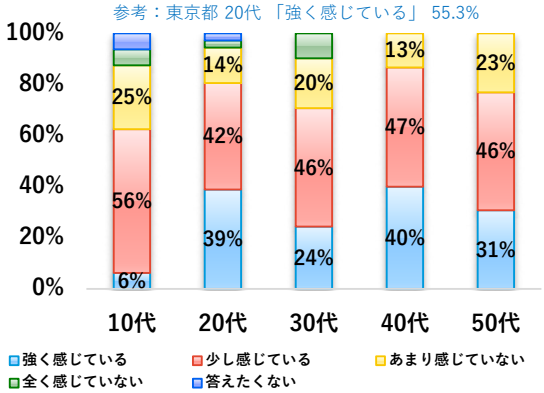
孤独を感じる頻度

参考：東京都 20代 「常に」41.6%



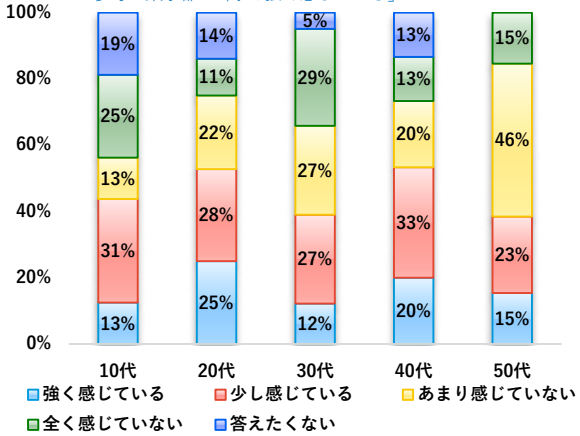
希死念慮

参考：東京都 20代 「強く感じている」 55.3%



自殺念慮

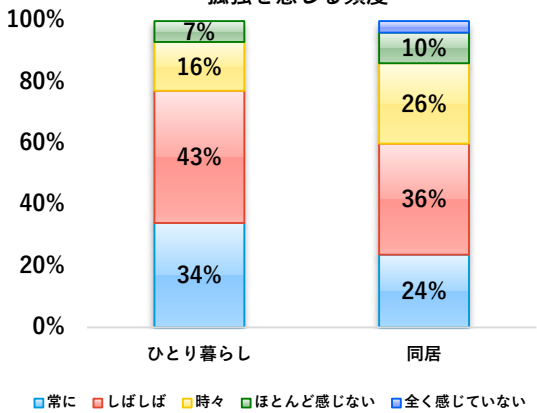
参考：東京都 20代 「強く感じている」 42.6%



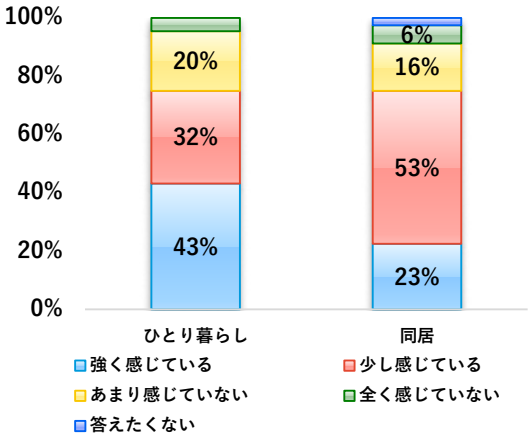
- 孤独感を「常に」感じている比率、及び希死念慮・自殺念慮を「強く」感じている比率はいずれも東京都全体よりも大き下回る数字となりました。
- 一方、年代別にみると20代は44%が「常に」孤独感を感じると回答しており、年代別に最も高いです。東京都20代 41.6%と比較しても高くなっています。
- 希死念慮、自殺念慮20代が最も「強く感じている」比率が高いですが、東京都全体と比較すると低い数値となっています。

世帯状況別

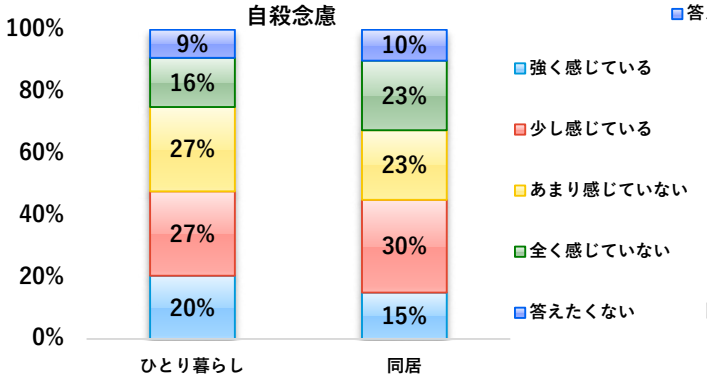
孤独を感じる頻度

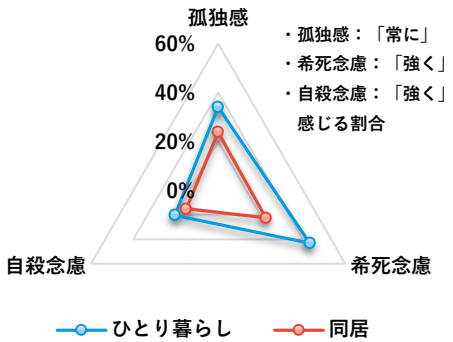


希死念慮



自殺念慮





・「ひとり暮らし」の相談者の方が「同居」している相談者よりも、孤独を「常に」感じる比率が10%高くなっています（孤独を「常に」感じる相談者　ひとり暮らし 34%、同居　24%）。
・しかし、同居者がいても実に86%の相談者は孤独感を少なからず感じており、近くに人がいることがすなわち「孤独感の解消」につながっているわけではないことがわかります。
・希死念慮、自殺念慮も同じく「ひとり暮らし」の相談者の方が「強く感じている」率が高くなりました。
・しかし、希死念慮、自殺念慮を「強く」もしくは「少し」感じている相談者まで含めると、ひとり暮らしでも同居でもほぼ同じ比率となります。「同居していても、ひとり暮らしと同じだけ希死念慮、自殺念慮を少なからず感じている」ということがわかります。

4.相談内容

相談内容

NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
相談内容	メンタル	仕事職場	恋愛性	育児	生活お金	夫婦関係	健康	学校	親族関係	就職進路	虐待	DV暴力	家庭	その他	
品川区　a	26%	22%	10%	10%	9%	5%	3%	2%	2%	2%	2%	2%	0%	6%	100%
東京都　b	33%	8%	4%	2%	3%	2%	3%	8%	6%	4%	6%	4%	2%	16%	100%
差異　a-b	-6%	+14%	+5%	+9%	+6%	+3%	-0%	-5%	-4%	-2%	-5%	-2%	-2%	-11%	-

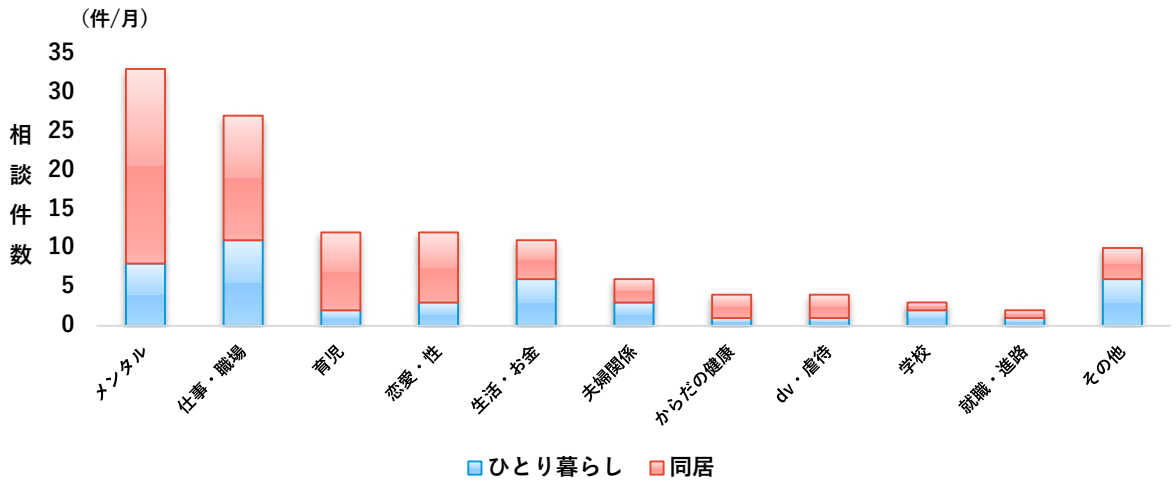
品川区の方が多い　品川区の方が少ない

年代別相談内容

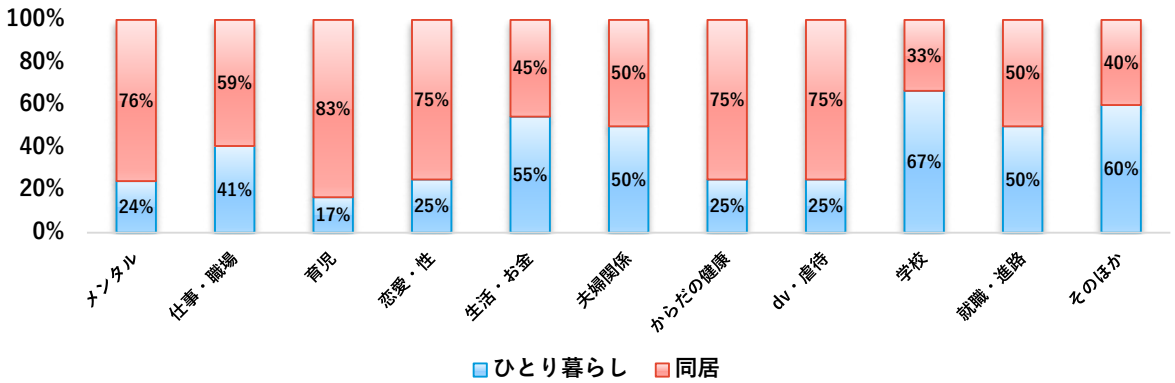
年代	メンタル	仕事・職場	育児	生活・お金	恋愛	夫婦関係	性	その他	合計
0代	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	2%
10代	3%	2%	3%	2%	0%	2%	0%	1%	13%
20代	11%	3%	3%	1%	4%	1%	2%	4%	29%
30代	8%	9%	4%	2%	2%	2%	2%	6%	34%
40代	2%	4%	0%	2%	0%	0%	0%	5%	12%
50代	2%	3%	0%	1%	0%	1%	1%	2%	10%
60代	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%
合計	26%	22%	10%	9%	6%	5%	4%	18%	100%

*品川区での相談件数全体（N=125）を100%として計算。
年代ごとに高い比率の相談内容を赤、低い比率の相談内容を青で色分け。

世帯状況別相談内容（件数）



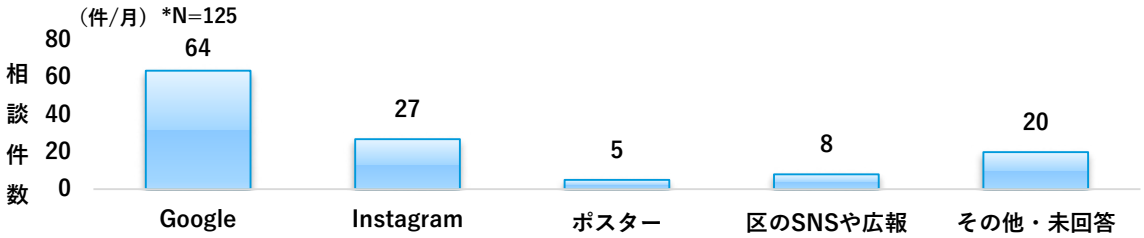
世帯状況別相談内容（比率）



・東京都全体と同じく、「メンタル」に関する相談が最も多く寄せられました（東京都 33%、品川区26%）。「メンタル」に関する相談には、鬱や障害など名前の付く精神的な病をお感じの相談者からの相談に加え、「何もかもしんどい」「自分に自信が持てない」などの病名はつかない心の病などを含みます。
・30代の相談者からの相談が相対的に多かったことを受け、「仕事・職場」に関する相談の比率が高くなりました（東京都 8%、品川区22%）。「育児」に関する相談が多かったことも特徴的です。
・世帯状況別にみると、「生活・お金」に関する相談は半数以上が「ひとり暮らし」の相談者から寄せられています。「夫婦関係」に関する相談も半数については「ひとり暮らし」世帯の相談者から寄せられており、必ずも同居人との関係に関するお悩みだけではないことがうかがえます。

5.相談窓口を知ったきっかけ*7

*7)相談の事前質問「あなたのいばしょ品川区版を何で知りましたか。」に対する回答



年代別　知ったきっかけ

	Google	Instagram	ポスター	区のSNSや広報	その他	未回答	合計
0代	0%	50%	0%	0%	50%	0%	100%
10代	69%	6%	6%	6%	13%	0%	100%
20代	67%	17%	0%	0%	17%	0%	100%
30代	43%	21%	10%	7%	17%	2%	100%
40代	33%	47%	0%	7%	13%	0%	100%
50代	38%	23%	0%	23%	15%	0%	100%
60代	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
全体	51%	22%	4%	6%	16%	1%	100%

*各年代の回答件数をそれぞれ100%とし、その内訳を算出。　各年代ごとに、比率の高い項目を赤、比率の低い項目を青で表示。

・全体の約半数（51% 64/125件）はGoogleからの流入でした。40代と（相談件数の少なかった)0代を除き、全年代でGoogleからの流入比率が最も高くなりました。
・40代のInstagram流入比率は、各年代と比較して圧倒的に高い数値となっています。
・「ポスター、区のSNSや広報」から30代および50代から一定の流入がありました。一方で10代・20代からは流入が少なく、全体の相談者比率が30代中心であったことの要因の1つであると考えることができます。

以上